

令和2年国勢調査 ＜大阪市の昼間人口＞



令和4年 10月
大阪市計画調整局

令和2年国勢調査＜大阪市の昼間人口＞

令和2年10月1日現在で実施した、令和2年国勢調査の従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果が、このたび総務省統計局から公表されましたので、大阪市分の概要を「大阪市の昼間人口」としてお知らせします。

目次

1 従業地・通学地別人口	1
(1) 昼間人口・昼夜間人口比率	1
(2) 地域別の流入・流出人口	2
(3) 年齢別流入・流出人口、昼間人口・昼夜間人口比率	3
(4) 21大都市（政令指定都市及び東京都区部）の昼間人口・昼夜間人口比率	4
(5) 行政区別昼間人口・昼夜間人口比率	5
2 従業地による就業者数（昼間就業者数）	7
(1) 産業大分類別昼間就業者数（15歳以上）	7
(2) 行政区別昼間就業者数（15歳以上）	8

従業地・通学地による人口・就業状態等集計とは

従業地・通学地による人口・就業状態等集計は、従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などを集計した結果です。この結果によって、昼間人口や昼夜間人口比率などを把握することができます。

これらについての詳細な結果は、下記URL（政府統計の総合窓口（e-Stat））をご覧ください。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00200521>

用語の解説

従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が仕事をしている場所又は通学者が通学している学校の場所をいい、次のとおり区分しています。なお、外勤の職員、運転手などのように雇われて戸外で仕事をしている人については、所属している事業所のある市区町村を、船の乗組員（雇用者）については、その船が主な根拠地としている港のある市区町村をそれぞれ従業地としています。

区分	内容
自市区町村	従業地・通学地が現在住んでいる市区町村と同一の市区町村の者 (大阪市の場合は従業地・通学地が住んでいる行政区と同一の行政区の者)
自宅	従業地が自宅の者
自宅外	従業地・通学地が「自宅」以外の者
他市区町村	従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外の者 (大阪市の場合は従業地・通学地が現在住んでいる行政区以外の者)
県内	自市内他区 政令指定都市に住んでいる者のうち、従業地・通学地が同じ市内の他区の者 (大阪市の場合、従業地・通学地が自区以外の大阪市内の他の行政区の者)
	県内他市町村 従業地・通学地が同じ都道府県内の他市町村の者 (大阪市の場合、従業地・通学地が大阪府内における大阪市以外の市町村の者)
他県	従業地・通学地が他の都道府県の者
従業・通学市区町村 「不詳・外国」	従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外であるが、市区町村名が不詳の者又は外国の者 (大阪市の場合、従業地・通学地が現在住んでいる行政区以外であるが、市区町村名が不詳の者又は従業地が外国の者)
従業地・通学地「不詳」	従業地・通学地が不詳の者

夜間人口と昼間人口

- ・夜間人口（常住地による人口）

調査時（令和2年10月1日）に調査の地域に常住している人口。

- ・昼間人口（従業地・通学地による人口）

当該集計の結果を用いて、次の式により算出された人口。なお、夜間勤務及び夜間通学の者も昼間人口に含まれていますが、買い物客や観光客などは含まれていません。

$$\boxed{\text{昼間人口} = \text{夜間人口} + \text{流入人口}^{(\text{注1})} - \text{流出人口}^{(\text{注2})}}$$

（注1）大阪市（区）以外から大阪市（区）への通勤・通学者数

（注2）大阪市（区）から大阪市（区）以外への通勤・通学者数

昼夜間人口比率

次式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示しています。

$$\boxed{\text{昼夜間人口比率} = (\text{昼間人口} / \text{夜間人口}) \times 100}$$

その他の用語

その他の用語については、『令和2年国勢調査 調査結果の利用案内 ―ユーザーズガイド―』をご参照ください。<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/sankou.html>

1 従業地・通学地別人口

(1) 昼間人口・昼夜間人口比率

昼間人口は353万4521人で、昼夜間人口比率は128.4

令和2年における本市の昼間人口は353万4521人で、流入人口が101万8178人、流出人口が23万6069人となっている。また、昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口）は128.4となっている。（図1-1、表1-1）

(万人) 図1-1 夜間・昼間人口及び昼夜間人口比率の推移(平成7年～令和2年)

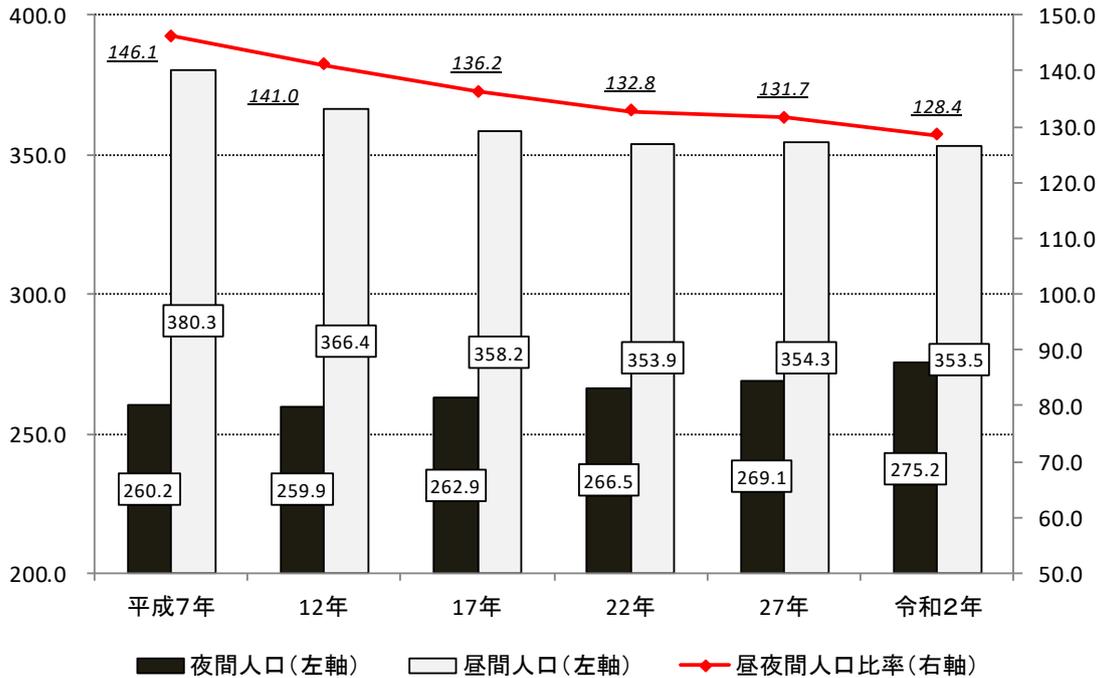


表1-1 大阪市における夜間・昼間人口及び昼夜間人口比率等の推移(平成7年～令和2年)

		人 口 (人)					
		平成7年	12年	17年	22年	27年	令和2年
夜間人口	総数	2,602,421	2,598,774	2,628,811	2,665,314	2,691,185	2,752,412
	就業者	1,336,176	1,231,235	1,159,848	1,143,391	1,120,196	1,072,469
	通学者	361,248	323,133	293,851	291,722	262,737	242,106
流入人口	総数	1,496,230	1,333,131	1,239,051	1,113,574	1,092,061	1,018,178
	就業者	1,363,043	1,231,282	1,143,792	1,031,087	1,007,861	948,008
	通学者	133,187	101,849	95,259	82,487	84,200	70,170
流出人口	総数	289,513	264,111	252,062	240,312	239,797	236,069
	就業者	227,511	210,749	206,422	196,463	197,772	202,174
	通学者	62,002	53,362	45,640	43,849	42,025	33,895
流入超過人口	総数	1,206,717	1,069,020	986,989	873,262	852,264	782,109
	就業者	1,135,532	1,020,533	937,370	834,624	810,089	745,834
	通学者	71,185	48,487	49,619	38,638	42,175	36,275
昼間人口	総数	3,803,203	3,664,414	3,581,675	3,538,576	3,543,449	3,534,521
	就業者	2,471,708	2,251,768	2,097,218	1,978,015	1,930,285	1,818,303
	通学者	432,433	371,620	343,470	330,360	304,912	278,381
昼夜間人口比率		146.1	141.0	136.2	132.8	131.7	128.4

注) 平成22年以降の「就業者」、「通学者」について、「夜間人口」は従業地・通学地不詳を含み、「昼間人口」は従業地・通学地不詳で、当地に常住している者を含む。

(2) 地域別の流入・流出口

流入人口総数に占める大阪府下からの流入人口の割合は約6割

就業者・通学者について、本市と近畿2府4県及び三重県との流入・流出口をみると、流入人口では大阪府下市町村からの流入が62万7455人と最も多く、流入人口総数(101万8176人)の61.6%を占めており、次いで、兵庫県が22万3896人、奈良県が8万4420人などとなっている。流出口では、流入人口と同様に、大阪府下市町村への流出が16万9766人と最も多く、流出口(23万6069人)の71.9%を占めており、次いで、兵庫県が3万7859人、京都府が1万3918人などとなっている。なお、京都府への通学者を除き、流入人口が流出口を上回っている。

また、市町村別の流入・流出口をみると、流入人口では堺市からの流入が8万9316人と最も多く、次いで、吹田市が5万9853人、豊中市が5万5038人などとなっており、流出口では東大阪市への流出が2万9349人と最も多く、次いで、堺市が2万1131人、吹田市が1万9419人などとなっている。なお、吹田市及び京都市は、総数としては流入超過であるが、通学者は流出超過となっている。

(表1-2、1-3)

表1-2 府県別流入・流出・流入超過人口(令和2年)

(人)

府県名	流入人口			流出口			流入超過人口			平成27年 流入超過 人口	H27~R2年 流入超過人口増 減率(%)
	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者		
総数	1,018,176	948,006	70,170	236,069	202,174	33,895	782,107	745,832	36,275	852,259	△ 8.2
大阪府下	627,455	577,442	50,013	169,766	146,392	23,374	457,689	431,050	26,639	491,110	△ 6.8
兵庫県	223,896	214,550	9,346	37,859	34,234	3,625	186,037	180,316	5,721	201,638	△ 7.7
奈良県	84,420	79,210	5,210	7,284	5,302	1,982	77,136	73,908	3,228	87,323	△ 11.7
京都府	49,395	47,155	2,240	13,918	10,246	3,672	35,477	36,909	△ 1,432	38,428	△ 7.7
滋賀県	13,125	12,124	1,001	2,060	1,566	494	11,065	10,558	507	12,309	△ 10.1
和歌山県	8,761	7,549	1,212	1,256	936	320	7,505	6,613	892	9,038	△ 17.0
三重県	3,058	2,644	414	347	315	32	2,711	2,329	382	3,577	△ 24.2
その他	8,066	7,332	734	3,579	3,183	396	4,487	4,149	338	8,836	△ 49.2

注) 就業者は15歳以上を集計、通学者は15歳未満も含めて集計

表1-3 都市別流入・流出・流入超過人口(令和2年)

※流入人口順

市町村名	流入人口(人)			流出口(人)			流入超過人口(人)		
	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者
堺市	89,316	81,675	7,641	21,131	19,489	1,642	68,185	62,186	5,999
吹田市	59,853	56,484	3,369	19,419	16,042	3,377	40,434	40,442	△ 8
豊中市	55,038	52,306	2,732	11,370	10,007	1,363	43,668	42,299	1,369
東大阪市	51,551	47,122	4,429	29,349	25,797	3,552	22,202	21,325	877
神戸市	49,790	48,129	1,661	12,142	10,613	1,529	37,648	37,516	132
西宮市	49,307	47,593	1,714	6,514	5,154	1,360	42,793	42,439	354
尼崎市	43,235	41,545	1,690	11,873	11,674	199	31,362	29,871	1,491
枚方市	33,718	31,266	2,452	5,774	4,471	1,303	27,944	26,795	1,149
八尾市	30,905	28,107	2,798	11,576	11,046	530	19,329	17,061	2,268
高槻市	29,226	27,302	1,924	4,574	3,837	737	24,652	23,465	1,187
茨木市	27,738	26,104	1,634	7,078	5,695	1,383	20,660	20,409	251
京都市	25,464	24,458	1,006	10,691	7,790	2,901	14,773	16,668	△ 1,895
奈良市	25,052	23,808	1,244	3,185	2,074	1,111	21,867	21,734	133
寝屋川市	22,240	20,583	1,657	4,756	3,340	1,416	17,484	17,243	241
宝塚市	20,340	19,539	801	1,023	910	113	19,317	18,629	688
守口市	19,552	18,040	1,512	8,575	7,601	974	10,977	10,439	538
松原市	15,448	13,976	1,472	4,644	3,485	1,159	10,804	10,491	313
和泉市	14,905	13,264	1,641	1,898	1,580	318	13,007	11,684	1,323
伊丹市	13,863	13,110	753	2,380	2,302	78	11,483	10,808	675
川西市	13,495	12,852	643	735	731	4	12,760	12,121	639

注) 就業者は15歳以上を集計、通学者は15歳未満も含めて集計

(3) 年齢別流入・流出口、昼間人口・昼夜間人口比率

「45～49歳」の年齢階級で流入超過人口が最も多い

流入・流出口を年齢階級別にみると、流入人口では「45～49歳」が13万4459人（流入人口総数の13.2%）、次いで、「50～54歳」が12万3353人（同12.1%）、「40～44歳」が10万6959人（同10.5%）などとなっている。流出口では、「20～24歳」が2万7933人（流出口総数の11.8%）、次いで、「45～49歳」が2万6074人（同11.0%）、「50～54歳」が2万3493人（同10.0%）などとなっている。流入超過人口では、すべての年齢層でプラスとなっており、「45～49歳」が10万8385人（流入超過人口総数の13.9%）、次いで、「50～54歳」が9万9860人（同12.8%）、「55～59歳」が8万5783人（同11.0%）などとなっている。

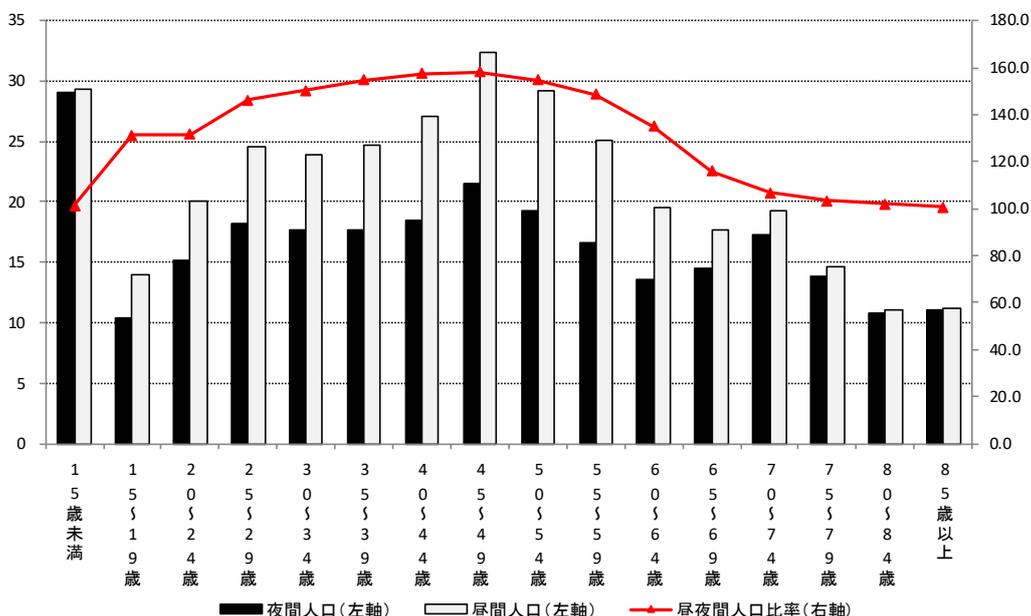
昼夜間人口比率を年齢階級別にみると、生産年齢人口に当たる15歳から64歳までの各年齢階級の昼夜間人口比率は本市全体の128.4を上回っている。（表1-4、図1-2）

表1-4 年齢（5歳階級）別夜間・昼間人口及び昼夜間人口比率等（令和2年）

年齢	夜間人口		流入人口		流出人口		流入超過人口		昼間人口		昼夜間人口比率
	(人)	構成比(%)	(人)	構成比(%)	(人)	構成比(%)	(人)	構成比(%)	(人)	構成比(%)	
総数	2,752,412	100.0	1,018,178	100.0	236,069	100.0	782,109	100.0	3,534,521	100.0	128.4
15歳未満	290,649	11.0	5,128	0.5	2,663	1.1	2,465	0.3	293,114	8.5	100.8
15～19歳	104,365	3.9	57,078	5.6	21,135	9.0	35,943	4.6	140,308	4.1	134.4
20～24歳	151,794	5.7	76,989	7.6	27,933	11.8	49,056	6.3	200,850	5.8	132.3
25～29歳	182,324	6.9	86,122	8.5	22,277	9.4	63,845	8.2	246,169	7.2	135.0
30～34歳	177,163	6.7	83,315	8.2	21,266	9.0	62,049	7.9	239,212	7.0	135.0
35～39歳	176,884	6.7	91,139	9.0	20,590	8.7	70,549	9.0	247,433	7.2	139.9
40～44歳	184,996	7.0	106,959	10.5	21,783	9.2	85,176	10.9	270,172	7.9	146.0
45～49歳	215,162	8.1	134,459	13.2	26,074	11.0	108,385	13.9	323,547	9.4	150.4
50～54歳	192,168	7.2	123,353	12.1	23,493	10.0	99,860	12.8	292,028	8.5	152.0
55～59歳	165,582	6.2	105,711	10.4	19,928	8.4	85,783	11.0	251,365	7.3	151.8
60～64歳	136,319	5.1	72,671	7.1	13,626	5.8	59,045	7.5	195,364	5.7	143.3
65～69歳	145,175	5.5	39,186	3.8	8,126	3.4	31,060	4.0	176,235	5.1	121.4
70～74歳	173,068	6.5	24,229	2.4	5,040	2.1	19,189	2.5	192,257	5.6	111.1
75～79歳	138,973	5.2	8,355	0.8	1,617	0.7	6,738	0.9	145,711	4.2	104.8
80～84歳	108,421	4.1	2,552	0.3	385	0.2	2,167	0.3	110,588	3.2	102.0
85歳以上	111,184	4.2	932	0.1	133	0.1	799	0.1	111,983	3.3	100.7
不詳	98,185	-	-	-	-	-	-	-	98,185	-	-
(再掲)											
15歳未満	290,649	11.0	5,128	0.5	2,663	1.1	2,465	0.3	293,114	8.5	100.8
15～64歳	1,686,757	63.5	937,796	92.1	218,105	92.4	719,691	92.0	2,406,448	70.0	142.7
65歳以上	676,821	25.5	75,254	7.4	15,301	6.5	59,953	7.7	736,774	21.4	108.9

注) 構成比は不詳を除いて算出した。
昼間人口は、従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

図1-2 年齢(5歳階級)別夜間・昼間人口及び昼夜間人口比率(令和2年)



(4) 21 大都市（政令指定都市及び東京都区部）の昼間人口・昼夜間人口比率

21 大都市のうち本市の昼夜間人口比率は最も高い

21 大都市（政令指定都市及び東京都区部）の昼間人口をみると、東京都区部が 1234 万 6348 人と最も多く、次いで、大阪市が 353 万 4521 人、横浜市が 349 万 5975 人などとなっている。昼夜間人口比率をみると、大阪市が 128.4 と最も高く、次いで、東京都区部が 126.8、名古屋市が 111.2 など 21 大都市のうち 14 の都市が 100 を上回っており、一方、川崎市が 87.3 と最も低く、次いで、相模原市が 88.9 などとなっている。（図 1-3、表 1-5）

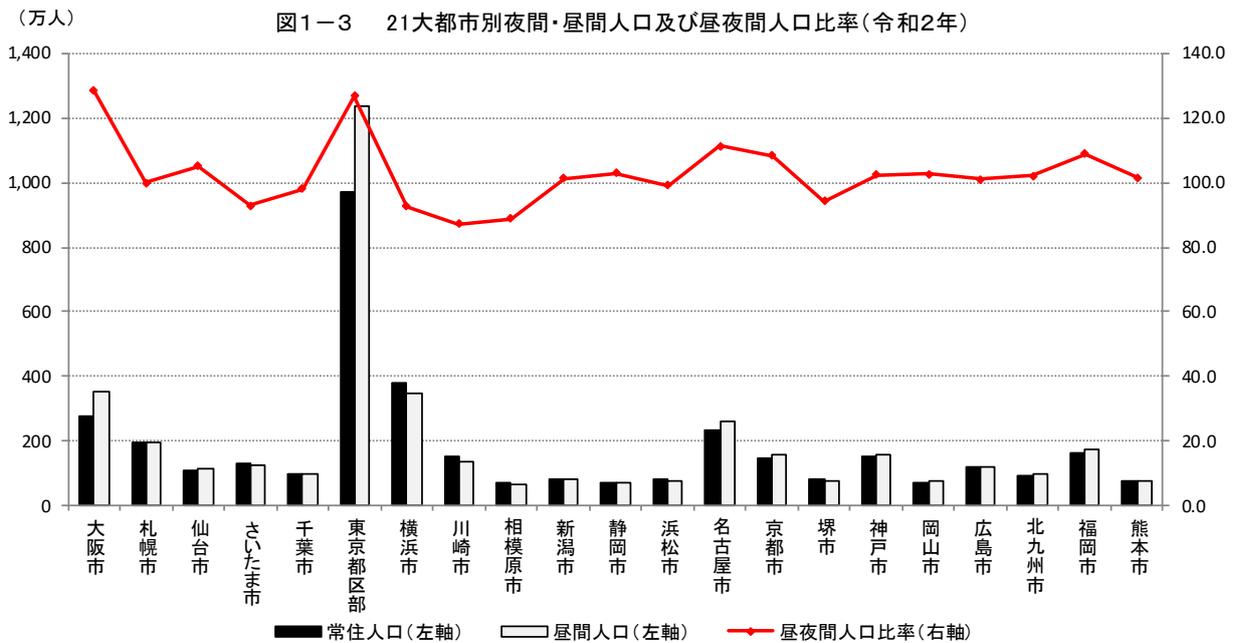


表 1-5 21 大都市別夜間・昼間人口及び昼夜間人口比率等(平成27年～令和2年)

21 大都市	令 和 2 年						平 成 27 年					
	夜間人口(人)	流入人口(人)	流出人口(人)	流入超過人口(人)	昼間人口(人)	昼夜間人口比率	夜間人口(人)	流入人口(人)	流出人口(人)	流入超過人口(人)	昼間人口(人)	昼夜間人口比率
大 阪 市	2,752,412	1,018,178	236,069	782,109	3,534,521	128.4	2,891,185	1,092,061	239,797	852,264	3,543,449	131.7
札 幌 市	1,973,395	72,437	71,668	769	1,974,164	100.0	1,952,356	79,112	71,728	7,384	1,959,740	100.4
仙 台 市	1,096,704	119,465	63,977	55,488	1,152,192	105.1	1,082,159	128,827	62,597	66,230	1,148,389	106.1
さ い た ま 市	1,324,025	214,399	308,944	△ 94,545	1,229,480	92.9	1,263,979	220,177	308,577	△ 88,400	1,175,579	93.0
千 葉 市	974,951	167,114	185,396	△ 18,282	956,669	98.1	971,882	174,034	194,388	△ 20,354	951,528	97.9
東 京 都 区 部	9,733,276	3,037,976	424,904	2,613,072	12,346,348	126.8	9,272,740	3,180,851	419,999	2,760,852	12,033,592	129.8
横 浜 市	3,777,491	411,548	693,064	△ 281,516	3,495,975	92.5	3,724,844	418,231	727,015	△ 308,784	3,416,060	91.7
川 崎 市	1,538,262	232,534	428,399	△ 195,865	1,342,397	87.3	1,475,213	244,544	417,270	△ 172,726	1,302,487	88.3
相 模 原 市	725,493	79,539	159,813	△ 80,274	645,219	88.9	720,780	80,983	165,545	△ 84,562	636,218	88.3
新 潟 市	789,275	48,186	38,015	10,171	799,446	101.3	810,157	51,684	39,372	12,312	822,469	101.5
静 岡 市	693,389	51,594	31,786	19,808	713,197	102.9	704,989	53,081	31,934	21,147	726,136	103.0
浜 松 市	790,718	42,751	49,703	△ 6,952	783,766	99.1	797,980	44,453	49,794	△ 5,341	792,639	99.3
名 古 屋 市	2,332,176	472,179	210,337	261,842	2,594,018	111.2	2,295,638	505,769	211,608	294,161	2,589,799	112.8
京 都 市	1,463,723	228,864	106,261	122,603	1,586,326	108.4	1,475,183	247,575	114,542	133,033	1,608,216	109.0
堺 市	826,161	112,568	161,299	△ 48,731	777,430	94.1	839,310	119,321	173,307	△ 53,986	785,324	93.6
神 戸 市	1,525,152	200,126	164,525	35,601	1,560,753	102.3	1,537,272	213,600	179,247	34,353	1,571,625	102.2
岡 山 市	724,691	73,353	53,292	20,061	744,752	102.8	719,474	78,957	53,232	25,725	745,199	103.6
広 島 市	1,200,754	82,581	69,185	13,396	1,214,150	101.1	1,194,034	88,983	71,997	16,986	1,211,020	101.4
北 九 州 市	939,029	67,992	48,534	19,458	958,487	102.1	961,286	73,082	50,851	22,231	983,517	102.3
福 岡 市	1,612,392	227,387	85,922	141,465	1,753,857	108.8	1,538,681	247,660	82,123	165,537	1,704,218	110.8
熊 本 市	738,865	69,047	57,098	11,949	750,814	101.6	740,822	71,762	55,732	16,030	756,852	102.2

注) 昼間人口は、従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

(5) 行政区別昼間人口・昼夜間人口比率

中央区の昼夜間人口比率は 433.1 と突出して高い

行政区別の昼間人口をみると、中央区が 44 万 9202 人と最も多く、次いで、北区が 42 万 354 人、淀川区が 22 万 6413 人などとなっている。昼夜間人口比率は、24 区のうち 14 区で昼夜間人口比率が 100 を上回り、中央区が 433.1 と最も高く、次いで、北区が 301.6、西区が 169.4 などとなっており、市域中心部で流入人口が流出人口を大きく上回っている。(図 1-4、表 1-6) 一方、昼夜間人口比率が最も低いのは鶴見区で 87.4、次いで城東区 88.1、東住吉区 89.7 などとなっている。

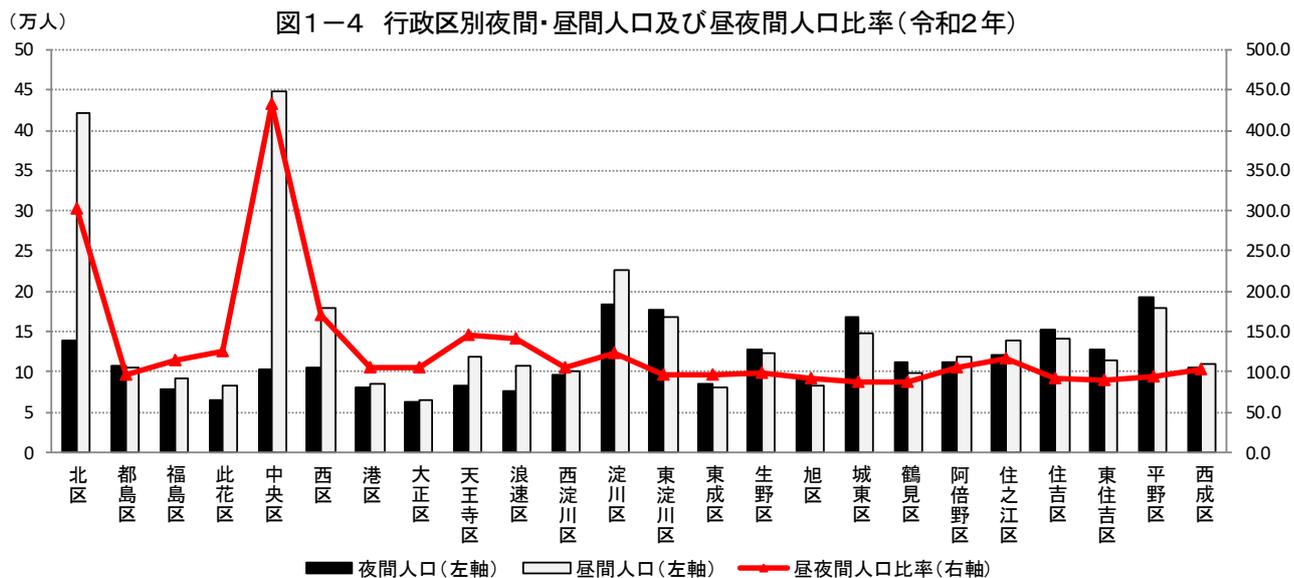


表1-6 行政区別夜間・昼間人口及び昼夜間人口比率等の推移(平成22年～令和2年)

行政区名	夜間人口(人)			流入人口(人)			流出人口(人)		
	平成22年	27年	令和2年	平成22年	27年	令和2年	平成22年	27年	令和2年
総数	2,665,314	2,691,185	2,752,412	1,113,574	1,092,061	1,018,178	240,312	239,797	236,069
市内流動	-	-	-	451,602	442,260	451,872	451,602	442,260	451,872
北区	110,392	123,667	139,376	296,886	313,860	311,551	24,573	26,394	30,573
都島区	102,632	104,727	107,904	29,193	26,971	27,500	31,157	29,946	30,541
福島区	67,290	72,484	79,328	42,737	39,270	36,213	20,231	21,692	24,246
此花区	65,569	66,656	65,251	30,693	32,918	32,875	17,337	17,739	15,580
中央区	78,687	93,069	103,726	402,750	380,552	367,067	15,651	19,067	21,591
西区	83,058	92,430	105,862	115,208	106,747	100,217	20,575	22,342	26,747
港区	84,947	82,035	80,948	27,512	24,890	23,649	21,815	20,422	20,037
大正区	69,510	65,141	62,083	18,735	17,578	16,711	15,737	16,013	13,756
天王寺区	69,775	75,729	82,148	66,879	65,831	60,000	20,186	21,453	23,214
浪速区	61,745	69,766	75,504	47,640	48,304	45,237	12,201	12,619	14,214
西淀川区	97,504	95,490	95,864	29,329	29,617	28,681	25,828	25,040	24,506
淀川区	172,078	176,201	183,444	95,763	94,398	90,283	46,155	42,483	47,314
東淀川区	176,585	175,530	177,120	37,585	39,210	36,759	47,516	44,266	45,095
東成区	80,231	80,563	84,906	24,564	22,429	20,372	23,364	23,287	24,287
生野区	134,009	130,167	127,309	27,345	25,244	22,847	29,536	27,004	25,887
旭区	92,455	91,608	89,670	20,585	19,161	17,027	26,763	24,741	24,306
城東区	165,832	164,697	169,043	35,315	32,496	31,314	51,294	52,055	51,470
鶴見区	111,182	111,557	112,691	20,668	19,798	18,822	33,309	34,358	33,024
阿倍野区	106,350	107,626	110,995	41,226	44,209	39,918	32,379	33,390	33,004
住之江区	127,210	122,988	120,072	45,287	45,987	45,442	31,703	28,939	25,782
住吉区	155,572	154,239	153,056	29,690	29,833	27,400	42,773	41,207	39,523
東住吉区	130,724	126,299	127,849	22,594	22,098	20,748	35,909	34,782	33,861
平野区	200,005	196,633	192,152	34,340	32,001	30,114	47,256	45,646	43,022
西成区	121,972	111,883	106,111	22,652	20,919	19,303	18,666	17,172	16,361

行政区名	流入超過人口(人)			昼間人口(人)			昼夜間人口比率		
	平成22年	27年	令和2年	平成22年	27年	令和2年	平成22年	27年	令和2年
総数	873,262	852,264	782,109	3,538,576	3,543,449	3,534,521	132.8	131.7	128.4
市内流動	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北区	272,313	287,466	280,978	382,705	411,133	420,354	346.7	332.5	301.6
都島区	△ 1,964	△ 2,975	△ 3,041	100,668	101,752	104,863	98.1	97.2	97.2
福島区	22,506	17,578	11,967	89,796	90,062	91,295	133.4	124.3	115.1
此花区	13,356	15,179	17,295	78,925	81,835	82,546	120.4	122.8	126.5
中央区	387,099	361,485	345,476	465,786	454,554	449,202	591.9	488.4	433.1
西区	94,633	84,405	73,470	177,691	176,835	179,332	213.9	191.3	169.4
港区	5,697	4,468	3,612	90,644	86,503	84,560	106.7	105.4	104.5
大正区	2,998	1,565	2,955	72,508	66,706	65,038	104.3	102.4	104.8
天王寺区	46,693	44,378	36,786	116,468	120,107	118,934	166.9	158.6	144.8
浪速区	35,439	35,685	31,023	97,184	105,451	106,527	157.4	151.1	141.1
西淀川区	3,501	4,577	4,175	101,005	100,067	100,039	103.6	104.8	104.4
淀川区	49,608	51,915	42,969	221,686	228,116	226,413	128.8	129.5	123.4
東淀川区	△ 9,931	△ 5,056	△ 8,336	166,654	170,474	168,784	94.4	97.1	95.3
東成区	1,200	△ 858	△ 3,915	81,431	79,705	80,991	101.5	98.9	95.4
生野区	△ 2,191	△ 1,760	△ 3,040	131,818	128,407	124,269	98.4	98.6	97.6
旭区	△ 6,178	△ 5,580	△ 7,279	86,277	86,028	82,391	93.3	93.9	91.9
城東区	△ 15,979	△ 19,559	△ 20,156	149,853	145,138	148,887	90.4	88.1	88.1
鶴見区	△ 12,641	△ 14,560	△ 14,202	98,541	96,997	98,489	88.6	86.9	87.4
阿倍野区	8,847	10,819	6,914	115,197	118,445	117,909	108.3	110.1	106.2
住之江区	13,584	17,048	19,660	140,794	140,036	139,732	110.7	113.9	116.4
住吉区	△ 13,083	△ 11,374	△ 12,123	142,489	142,865	140,933	91.6	92.6	92.1
東住吉区	△ 13,315	△ 12,684	△ 13,113	117,409	113,615	114,736	89.8	90.0	89.7
平野区	△ 12,916	△ 13,645	△ 12,908	187,089	182,988	179,244	93.5	93.1	93.3
西成区	3,986	3,747	2,942	125,958	115,630	109,053	103.3	103.3	102.8

注) 昼間人口は、従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

2 従業地による就業者数（昼間就業者数）

（1）産業大分類別昼間就業者数（15歳以上）

昼間就業者数の割合が最も高い産業は「卸売業、小売業」

15歳以上昼間就業者数を産業大分類別構成比でみると、「卸売業、小売業」が18.4%と最も高く、次いで、「製造業」が12.4%、「医療、福祉」が9.6%、「サービス業（他に分類されないもの）」が8.6%、「情報通信業」が7.1%などとなっており、この5産業で15歳以上昼間就業者数の55.9%と過半数を占めている。

また15歳以上昼間就業者に占める流入就業者、つまり市外居住者の割合をみると、全体で52.1%となっており、市内就業者の過半数は流入就業者で占められている。（図2-1、表2-1）

図2-1 産業大分類別15歳以上昼間就業者構成比（令和2年）

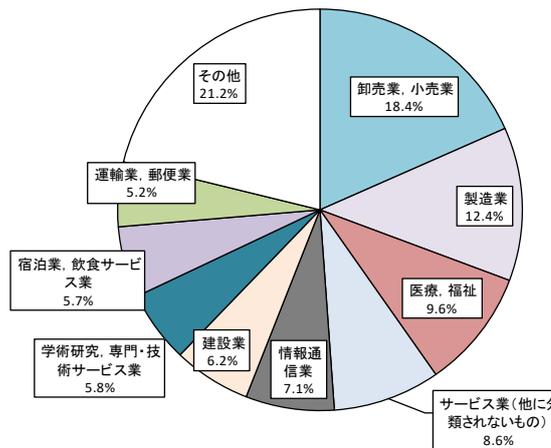


表2-1 産業大分類別15歳以上昼間就業者数及び流入就業者数（令和2年）

産業大分類	就業者数(人)		B / A × 100 (%)	構成比 (%)	
	昼間 就業者数 1) (A)	流入 就業者数 (B)		昼間 就業者数	流入 就業者数
総数	1,818,297	948,006	52.1	100.0	100.0
第1次産業	1,270	443	34.9	0.1	0.0
農業、林業	1,212	428	35.3	0.1	0.0
漁業	58	15	25.9	0.0	0.0
第2次産業	337,730	183,651	54.4	18.6	19.4
鉱業、採石業、砂利採取業	55	29	52.7	0.0	0.0
建設業	112,892	62,118	55.0	6.2	6.6
製造業	224,783	121,504	54.1	12.4	12.8
第3次産業	1,416,537	749,291	52.9	77.9	79.0
電気・ガス・熱供給・水道業	12,223	9,433	77.2	0.7	1.0
情報通信業	128,697	83,917	65.2	7.1	8.9
運輸業、郵便業	94,464	49,620	52.5	5.2	5.2
卸売業、小売業	333,723	180,236	54.0	18.4	19.0
金融業、保険業	72,883	52,194	71.6	4.0	5.5
不動産業、物品賃貸業	64,923	32,969	50.8	3.6	3.5
学術研究、専門・技術サービス業	105,028	63,275	60.2	5.8	6.7
宿泊業、飲食サービス業	104,097	39,116	37.6	5.7	4.1
生活関連サービス業、娯楽業	59,797	27,766	46.4	3.3	2.9
教育、学習支援業	59,873	30,811	51.5	3.3	3.3
医療、福祉	174,293	63,063	36.2	9.6	6.7
複合サービス事業	5,812	2,840	48.9	0.3	0.3
サービス業（他に分類されないもの）	155,709	82,325	52.9	8.6	8.7
公務（他に分類されるものを除く）	45,015	31,726	70.5	2.5	3.3
分類不能の産業	62,760	14,621	23.3	3.5	1.5

注) 従業地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

(2) 行政区別昼間就業者数(15歳以上)

昼間就業者総数に占める中央区、北区、淀川区、西区4区の昼間就業者数の割合は約5割

行政区別の15歳以上昼間就業者数をみると、中央区が38万2409人(15歳以上昼間就業者総数の21.0%)と最も多く、次いで、北区が32万7590人(同18.0%)、淀川区が11万8086人(同6.5%)、西区が11万5805人(同6.4%)などとなっており、この4区で、昼間就業者総数の51.9%と過半数を占めている。(図2-2、表2-2)

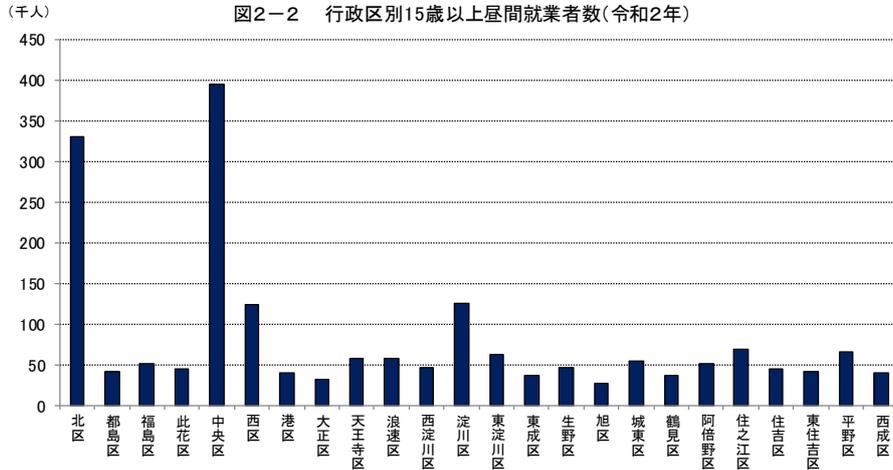


表2-2 行政区別15歳以上昼間就業者数の推移(平成22年~令和2年)

行政区名	昼間就業者数(人)			構成比(%)		
	平成22年	27年	令和2年	平成22年	27年	令和2年
大 阪 市	1,978,012	1,930,279	1,818,297	100.0	100.0	100.0
北 区	313,115	330,323	327,590	15.8	17.1	18.0
都 島 区	44,947	42,009	39,999	2.3	2.2	2.2
福 島 区	55,382	51,698	47,662	2.8	2.7	2.6
此 花 区	43,327	45,166	43,619	2.2	2.3	2.4
中 央 区	413,911	395,626	382,409	20.9	20.5	21.0
西 区	126,452	123,866	115,805	6.4	6.4	6.4
港 区	44,343	40,380	36,842	2.2	2.1	2.0
大 正 区	33,497	31,482	28,597	1.7	1.6	1.6
天 王 寺 区	60,618	58,498	54,154	3.1	3.0	3.0
浪 速 区	55,905	58,832	52,042	2.8	3.0	2.9
西 淀 川 区	48,067	47,146	44,919	2.4	2.4	2.5
淀 川 区	127,905	125,713	118,086	6.5	6.5	6.5
東 淀 川 区	63,995	62,353	56,736	3.2	3.2	3.1
東 成 区	39,646	36,672	32,151	2.0	1.9	1.8
生 野 区	52,596	46,785	40,867	2.7	2.4	2.2
旭 区	30,613	27,761	24,630	1.5	1.4	1.4
城 東 区	58,998	55,264	51,199	3.0	2.9	2.8
鶴 見 区	38,301	36,750	34,373	1.9	1.9	1.9
阿 倍 野 区	49,278	52,136	47,176	2.5	2.7	2.6
住 之 江 区	70,947	69,627	65,999	3.6	3.6	3.6
住 吉 区	46,491	44,997	41,029	2.4	2.3	2.3
東 住 吉 区	44,551	41,727	38,444	2.3	2.2	2.1
平 野 区	71,936	65,887	60,485	3.6	3.4	3.3
西 成 区	43,191	39,581	33,484	2.2	2.1	1.8

注)従業地「不詳」で、当地に常住している者を含む。